

ハイライトよねやま 45

(財)ロータリー米山記念奨学会
2003年11月10日発行

1. 寄付金速報 ~ 米山月間の成果は？

10月までの寄付金は、前年同期と比べ3.2%減、約1千7百万円の減少です(2002年度は9.6%減)。普通寄付金が1.0%減、特別寄付金が4.8%減です。10月はとりわけ最終週にたくさんのご寄付をいただきました。地区及びクラブ役員皆様の米山月間でのご努力の結果です。今後も新米山功労者表彰を広くご周知いただき、功労者になられた方には引き続きメジャーダーを目指していただけますよう、11月もご協力をよろしくお願いいたします。

2. 2004学年度米山奨学金の申込状況 ~ 全国から1,563名が応募

10月15日をもって、2004学年度米山奨学生の募集が締切りとなりました。今年は、全国の指定大学401校から合計1,563名の応募がありました。傾向としては、推薦枠定員を下回ってでも、応募者を厳選する大学が増えてきています。大学推薦制度も全国施行3年目を迎え、米山奨学金の求める優秀性の基準が、大学側にも浸透してきたことの現れでしょう。来年1月中旬~2月上旬にかけて、地区選考委員会によって書類選考・面接試験が実施され、3月末には合格者648名が決定いたします。

3. 第1回米山奨学会学友セミナー開催報告

~ 学友たちの手による、平和と国際貢献に向けた知的交流の集いに約150名が参加

10月11日(土)東京大学山上会館(東京・本郷)にて、第1回米山奨学会学友セミナーが開催されました。全国の米山学友会の会長有志が連携して初めて開催したこのセミナーには、現役・元米山奨学生やロータリアンの他、一般留学生や日本人学生、社会人など、定員を超える147名の参加がありました。平和学の第一人者である岡本三夫先生(広島修道大学教授)の基調講演に続いて、懸賞論文入賞者を含むパネリストによるパネルディスカッションが行われ、平和のために留学生がどのような役割を果たすべきか、参加者全員が真剣に耳を傾け、語り合いました。白熱した質疑応答では、留学生をとりまく諸問題も取り上げられました。詳しくは、当会ホームページに掲載いたしますので、ぜひご覧ください(11月15日頃予定)。

4. 学友の卒業制作がストックホルム国際映画祭に正式招待

韓国出身の米山学友 裴 泰秀(ベ・テス)さん【2002-03 / 大阪芸術大学 / 羽曳野 RC】の卒業制作映画が、今年のストックホルム国際映画祭(11/13~23開催)の正式招待作品に選ばれました。ストックホルム国際映画祭は北ヨーロッパ最大の国際映画祭で、今年は日本からベ・テスさんの『Gong』の他、ホラー映画『呪怨』など計7編が出品されています。国際的な大舞台で活躍する学友がまた一人誕生しました。ベ・テスさんの健闘をお祈りいたします。

表彰制度を改定しました！
新年度から累計十万円毎に米山功労者として表彰いたします。詳しくはホームページをご覧ください。